

# 令和2年度 苫小牧市の財務書類について【概要版】

## 貸借対照表(バランスシート・BS)

貸借対照表は会計年度末時点における資産と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを一目で分かるように示すものです。左側に資産を計上し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を計上しています。

単位:百万円

資産の部(これまで積み上げてきた資産)			負債の部(将来世代が負担する金額)				
	一般会計等	全体会計		一般会計等	全体会計		
1 流動資産	(1)現金預金	2,655	6,097	1 流動負債	(1)引当金 賞与引当金	726	1,173
	(2)未収金	465	2,740		(2)地方債(短期) 翌年度支払予定地方債	7,330	12,394
	(3)基金	3,564	3,564		(3)その他 未払金等	1,239	2,266
	(4)その他 短期貸付金等	3,007	4,290		2 固定負債	(1)地方債 翌々年度以降支払予定地方債	83,739
2 固定資産	(1)事業用資産等 庁舎、学校、市営住宅等	152,215	170,845	(2)退職手当引当金		6,317	9,400
	(2)インフラ資産 道路、公園、上下水道等	83,486	175,932	(3)その他 長期未払金等		74	40,540
	(3)その他 無形固定資産、投資・出資等	10,867	14,041	<b>負債合計</b>	<b>99,425</b>	<b>199,700</b>	
<b>資産合計</b>			<b>負債及び純資産合計</b>				
			純資産の部(これまでの世代が負担した金額)				
			<b>純資産合計</b>				
			<b>156,834</b>				
			<b>177,809</b>				
			<b>256,259</b>				
			<b>377,509</b>				

## 資金収支(キャッシュフロー)計算書(CF)

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して計上することで、どのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

単位:百万円

	一般会計等	全体会計
前年度末預金残高	3,004	5,855
当期資金収支	▲ 382	209
1 業務活動収支	▲ 1,385	3,177
社会保障給付、人件費、地方税等		
2 投資活動収支	▲ 2,574	▲ 4,882
固定資産形成、貸付金等		
3 財務活動収支	3,577	1,914
地方債の償還、収入等		
歳計外現金収支	33	33
1 前年度末歳計外現金残高	1,206	1,206
2 期末歳計外現金残高	1,239	1,239
<b>期末現金預金残高</b>	<b>2,655</b>	<b>6,097</b>

## 純資産変動計算書(NW)

貸借対照表上の純資産の1年間の増減を示すものです。これまでの世代が負担してきた部分の増減を表示しています。

単位:百万円

	一般会計等	全体会計
前年度末純資産残高	160,177	178,970
当期変動額	▲ 3,343	▲ 1,161
1 財源変動の部	▲ 7,068	▲ 4,830
(1)財源の用途		
純行政コスト	91,377	123,563
(2)財源の調達	84,309	118,733
市税、地方交付税、国道支出金等		
2 その他の純資産変動の部	3,725	3,669
<b>期末純資産残高</b>	<b>156,834</b>	<b>177,809</b>
(前年度末純資産残高+当期変動額)		

## 行政コスト計算書(PL)

行政活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費等非現金コストについても計上しています。

単位:百万円

	一般会計等	全体会計
業務費用	40,878	60,047
1 人件費	10,801	17,519
給与費、退職給付費用等		
2 物件費	28,625	39,676
消耗品費、維持補修費、減価償却費等		
3 その他の業務費用	1,452	2,852
地方債利子等		
移転費用	53,984	79,865
他会計への支出、社会保障給付費等		
経常収益	3,222	16,092
使用料、手数料等		
<b>純経常行政コスト</b>	<b>91,640</b>	<b>123,820</b>
(業務費用+移転費用-経常収益)		
臨時損失	84	152
災害復旧事業費、資産除売却損等		
臨時利益	347	409
資産売却益等		
<b>純行政コスト</b>	<b>91,377</b>	<b>123,563</b>
(純経常行政コスト+臨時損失-臨時利益)		

※ 表中、表示単位未満は四捨五入のため合計が一致しない場合があります。

## ● 財務書類の分析について

### ◎ 資産と負債の状況

#### ① 道路や公園など、現在までの世代で負担済分

一般会計等 … 61.2%  
全体会計 … 47.1%

社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合  
(社会資本形成の世代間比率)【純資産／総資産】です。

#### ② 市民1人当たりの資産と負債

(令和3年3月31日現在人口169,808人)

一般会計等 … 資産 = 151万円 負債 = 59万円  
全体会計 … 資産 = 222万円 負債 = 118万円

#### ③ 市民1人当たりの地方債残高

一般会計等 … 54万円  
全体会計 … 86万円

## ● 財務書類について

市民の皆さんに財政状況をよりよく理解していただくため、統一的な基準による地方公会計制度に基づいて財務書類を作成しております。

～会計の説明～

2種類の会計の説明

★ 一般会計等 … 一般会計の数値となります。

★ 全体会計 … 上記一般会計等、国民健康保険事業会計などの特別会計及び企業会計を含む数値となります。